

令和7年12月 地震・火山月報（防災編）

表 令和7年12月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等	概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第119～127号	<p>1日、5日、8日、12日、15日、19日、22日 16時00分 26日 16時05分 29日 16時00分</p> <p>南岳山頂火口で活発な噴火活動継続。爆発、噴火、大きな噴石の飛散、噴煙。火映。昭和火口では噴火及び火映はない。 火山性地震は少ない状態から25日以降増加、28日以降減少。火山性微動は噴火に伴う発生の他、25日以降は断続的。 火山ガス(二酸化硫黄)放出量は2300～2800[t/日](12/5, 19)で多い。 GNSS観測で、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられ、今後の火山情報に注意。</p>
		降灰予報(速報)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第31～34号	<p>5日、12日、19日、26日 16時00分</p> <p>ポンマチネシリ96-1火口の噴煙は引き続き活発な状態。 9月12日の火山性微動以降、ポンマチネシリ火口方向が上がる傾斜変動が観測され、12月上旬から変動方向に変化が認められるが、火口浅部が膨張した状態が継続。 ポンマチネシリ火口付近の火山性地震は、12月上旬に一時的に増加傾向がみられ、その後は概ね少ない状態。 噴火の可能性があり、ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では大きな噴石に警戒。</p>
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第51～54号	<p>5日、12日、19日、26日 16時00分</p> <p>黒倉山付近の微小な火山性地震は少ない。 同山頂のENE及びSSE約7.5kmのひずみ計で、10月頃から山体深部の膨張を示すわずかな伸びの変化。また同山頂のSSW約5kmのひずみ計で、3日以降縮みが認められ、8日の青森県東方沖の地震以降再び伸び、10日頃から縮み、17日頃から伸び変化で推移。 周辺のGNSSで昨年2月頃からの山体深部の膨張の変動は緩やかに継続。昨年8月頃からの大地獄谷付近ごく浅部の膨張についても継続している可能性あり。 引き続き、西岩手山(大地獄谷・黒倉山から姥倉山)の想定火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性がある。</p>
草津白根山 (白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第96～109号	<p>1日、3日、5日、8日、10日、12日、15日、17日、19日、22日、24日、26日、29日、31日 16時00分</p> <p>火山性地震の日回数が数回で継続。 傾斜計で昨年6月頃からの地下浅部の膨張を示す緩やかな変動は10月に入り鈍化。噴気の化学成分比に同年6月頃から活発化を示す変化が継続。全磁力連続観測で湯釜付近地下の温度上昇を示唆する変化が継続。 火山活動が高まり湯釜火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性がある。</p>
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第96～104号	<p>1日、5日、8日、12日、15日、19日、22日、26日、29日 16時00分</p> <p>火山性地震は2024年4月中旬以降増加した状態だが今年7月頃から減少傾向がみられる。同3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は5月以降は停滞。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は80～200[t/日](12/2, 11, 16)、2023年3月以前より多いが今年6月頃からやや減少している。 火口から概ね2kmに影響する噴火の可能性がある。</p>

令和7年12月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第106～109号	5日、12日、19日 26日 16時00分 16時05分	9月8日以降噴火はない。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は500[t/日](1日)でやや多い。火口直下の火山性地震は増減を繰り返しやや多い。火山性微動はない。 12日の上空からの観測(陸上自衛隊第8飛行隊協力)で、火口内及び西側斜面の割れ目付近で地熱域を確認。GNSS観測で霧島山を挟む一部の基線で、深部の膨張を示すわずかな伸びは7月上旬頃から停滞。火山活動が高まった状態が継続。引き続き噴火の可能性がある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第49～52号	5日、12日、19日、26日 16時00分	白色の噴煙と夜間に高感度カメラで火映を観測。火山性地震は少ない。 長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態。火口周辺に影響する噴火の可能性あり。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第51～54号	5日、12日、19日、26日 16時00分	御岳火口で噴火活動継続。噴火、爆発なし、噴煙、大きな噴石なし、火映の状況。集落(火口から南南西3.5km)で降灰を確認(村役場出張所による)。 火口付近浅部の火山性地震は少ない。島の西側の地震は少ないが最大震度1を観測。 中長期的には2024年10月頃から島の周辺で地震活動が高まっている。火山性微動は主に噴火に伴って発生した他、断続的。 GNSSでは2024年10月以降、島の西側やや深部でマグマ蓄積量増加を示すわずかな変動が認められる。 長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺で大きな噴石飛散の可能性がある。
			降灰予報(速報)	(今期間発表なし)
			降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)
磐梯山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報 第1号	1日 09時40分	1日03～05時頃、火山性地震が増加。震源は山頂付近の深さ2km付近と推定。低周波地震や火山性微動はなく、地殻変動にも特段の変化はない。監視カメラでも特段の異常はない。 これまでも一時的な地震の増加がみられ、地震以外に特段の変化はないが、火山活動の推移に留意。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 雌阿寒岳、岩手山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、浅間山、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。